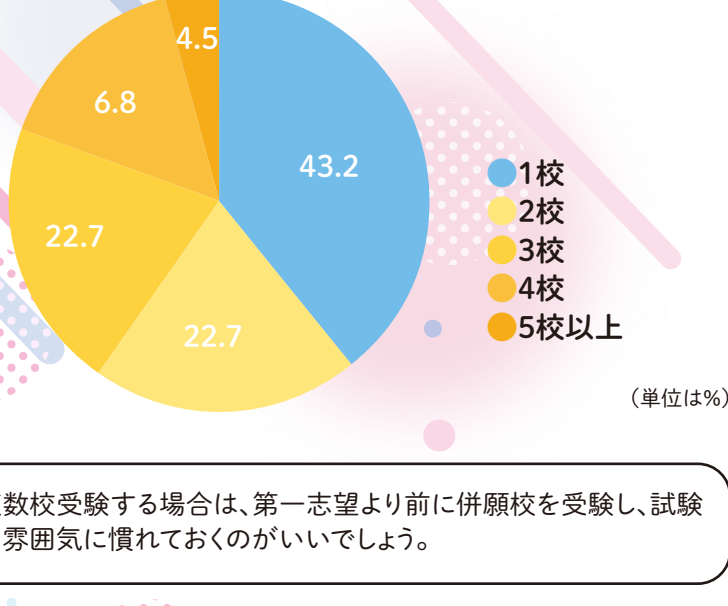
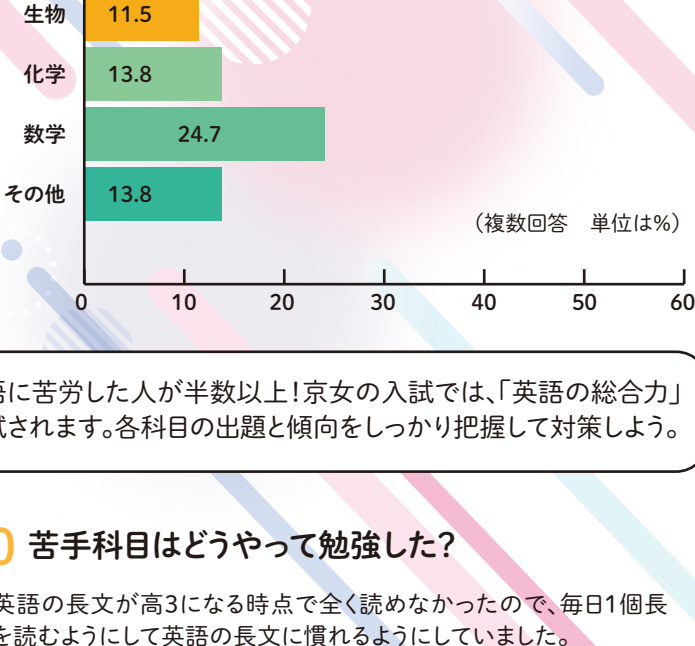


Q8 受験した大学の数は？



複数校受験する場合は、第一志望より前に併願校を受験し、試験の雰囲気慣れしておくのがいいでしょう。

Q9 受験勉強で苦勞した科目はなんですか？

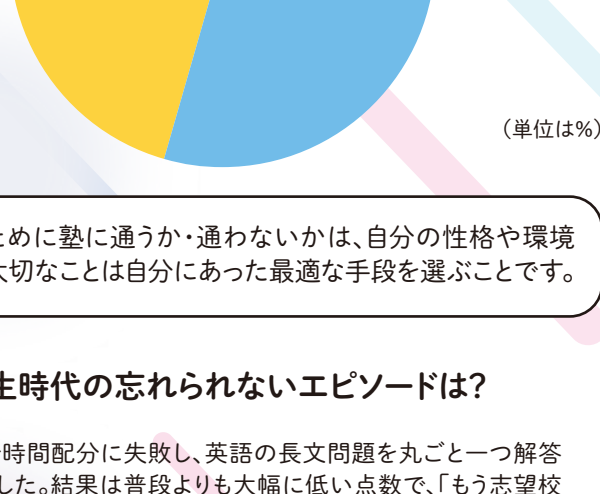


英語に苦勞した人が半数以上！京女の入試では、「英語の総合力」が試されます。各科目の出題と傾向をしっかり把握して対策しよう。

Q10 苦手科目はどうやって勉強した？

- 英語の長文が高3になる時点で全く読めなかったので、毎日1個長文を読むようにして英語の長文に慣れるようにしていました。
- 苦手な科目ほど避けたくなるものですが、毎日少しずつでも取り組むようにしました。例えば、朝の時間や寝る前に苦手科目に10～20分だけ集中して勉強する習慣を作ることで、苦手意識が少しずつ薄れていきました。無理なく続けられる小さな目標を設定し、「今日は単語を10個覚える」「1ページだけ問題を解く」といった簡単なタスクを毎日こなしました。こうした積み重ねが、いつの間にか自信につながりました。
- 苦手科目に対しては「小さなステップで少しずつ慣れる」、「基礎を徹底的に固める」、「継続する」という方法を意識して取り組みました。
- 一日必ず参考書を何ページまで進める、というようにゴールを決めて取り組んでいました。
- 好きな音楽を聞きながら勉強することでモチベーションを高めていました。また、入試問題を解いて、今の状態では合格できないと再認識することで、やらなければならないと自分を追い込んでいました。
- 私は英語が苦手だったので、英語が少しでも好きになるように、日本語訳を見ながら洋楽を聞いていました。口ずさむことで発声もできたため、聴覚からも英語のイディオムやパターンを覚えることができたと思います。
- 勉強時間の半分近くを苦手科目に割いていました。対策方法としては、過去問題を解いた後に解説を読んで教科書で確認するという流れを繰り返していました。また、さまざまな出題形式に慣れるためにも志望校以外の過去問も解きました。
- 小論文に苦勞しました。とにかく毎日、新聞から一つ記事を選び考えを書き、国語の先生に添削してもらうようにしていました。
- 分からない問題は学校の先生に質問・毎日何題解くか決めて継続的に取り組みました。
- 自分で作ったまとめノートの重要語句を赤シートで隠してひたすら書いて覚えました。
- ざっと問題を一通り解いて、自分で出来なかったと感じたところから復習をしていきました(確実に点が取れる問題から完璧にしていく)。

Q11 塾に通っていましたか？

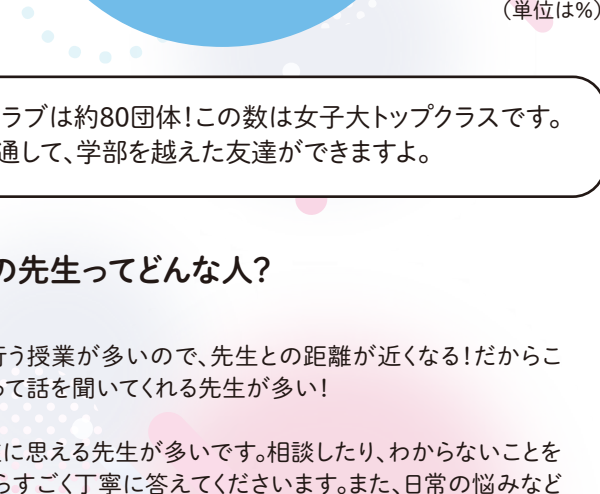


大学受験のために塾に通うか・通わないかは、自分の性格や環境を見極めて。大切なことは自分にあった最適な手段を選ぶことです。

Q12 受験生時代の忘れられないエピソードは？

- ある模試で時間配分に失敗し、英語の長文問題を丸ごと一つ解答できませんでした。結果は普段よりも大幅に低い点数で、「もう志望校には合格できないかもしれない」と落ち込みました。しかし、その失敗をきっかけに、「本番でも同じことをやってしまったら大変だ」と危機感を覚え、時間配分の仕方を徹底的に見直すことに。過去問や模試を解くときは、必ず時計を見ながら各大問にかかる時間を決め、その通りに進める練習を重ねました。また、苦手な長文読解の解答スピードを上げるために、短い英文を毎日タイマーを使って読み込む練習も始めました。結果、模試の成績も向上し、本番では焦ることなく落ち着いて解けるようになりました。あの時は本当に落ち込みましたが、今振り返ると、弱点に気づき、自分を成長させてくれた大切な経験でした。失敗は確かに辛いですが、それをどう活かすかで結果が変わるんだと実感しました。
- 朝早くから学校で勉強していたので、父に駅まで車で送ってもらっていました。また、母のおいしいご飯は勉強のリフレッシュにはとても効果的でした。家族のサポートなしでは合格できなかったと思います！
- 受験勉強が本格的になってきたとき時から、友人と一緒に毎日放課後図書館に行って勉強し、お互いどこまで進んだかを報告しあうようにしていました。辛かったことも多かったのですが、その友人と過ごした時間は忘れられません。
- 図書館や自習室に行くと、私も頑張らなきゃ！と周り比べては焦ったり、落ち込んだり、無理をして体調を崩したりすることもありました。自分に合ったペースで勉強することが大切だと受験期に学びました。
- 受験当日に乗る電車を間違えてしまい、試験開始3分前に会場に駆け込みました。特に乗り換えの回数が多い場合は試験当日までに一度は一人で会場に向かう練習をしておくことをおすすめしたいです。
- 中々受験勉強に身が入らず、怠けていた時がありました。普段私に対してめったに怒らない高校の日本史の先生が、少し怒って喝を入れてくれました。
- 総合型選抜エントリーシートの内容を考えたり面接の練習をしたりする中で「どうしてこの職業に就きたいのか」「どうして京女に行きたいのか」などを何度も何度も考えて言葉にしていこううちに、今まで気づかなかった自分の思いに気づけたり、京女に行きたい、将来こんな大人になりたいという思いが強まっていきました。ずっと自分の将来を考え続ける時間が結構楽しかったです。
- 一度本当に勉強が嫌になりました。その時、友達と理想の結婚式場を探して理想の結婚式プランを考えました。息抜きも大切ですよ！笑
- 受験前日まで合格できるか自信がありませんでした。進路指導担当の先生が、これまでの私の頑張りを認めてくださり、笑顔で頑張っていっておいで！と送り出してくれました。無事合格したときも、真っ先に報告に行き、一緒に喜んでくださったことが本当に嬉しく、今でも先生のその時の表情をよく覚えています。
- コロナ禍で登校することができなかったのも、小論文試験対策のため高校の先生にはデータでやりとりをしていただきながら小論文をどのように書いたら良いか、一緒に考えてもらいました。

Q13 クラブ・サークル活動はしていますか？(学内外含む)

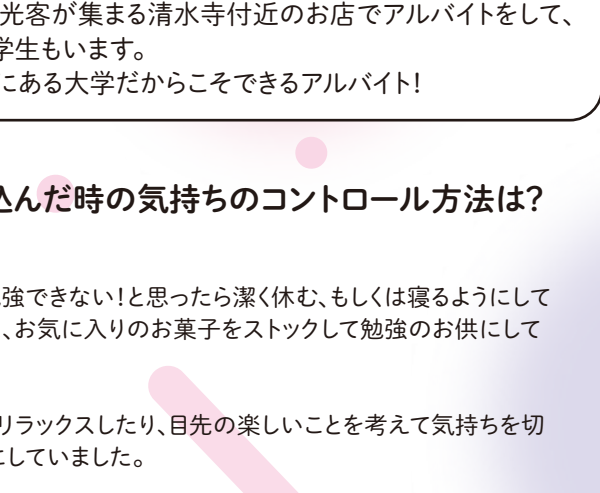


京女の公認クラブは約80団体！この数は女子大トップクラスです。クラブ活動を通して、学部を越えた友達ができますよ。

Q14 京女の先生ってどんな人？

- 少人数で行う授業が多いので、先生との距離が近くなる！だからこそ、親身になって話を聞いてくれる先生が多い！
- 身近な存在に思える先生が多いです。相談したり、わからないことを聞いたりしたらすぐ丁寧に答えてくださいます。また、日常の悩みなど授業以外のことも気にかけてくださいます。
- 教育熱心な先生が多く、ご自身の研究分野が大好きなので、それを学生に伝えたいという思いが感じられます。
- 名前や顔を覚えてくださる先生が多くて親しみやすいです。体調不良で欠席してしまった際もメールで気遣ってくださる先生も多いです。
- ①優しい／②面白い／③親身になってよく話を聞いてくださる／④ご自身の専門分野のお話をしているときの表情が豊かで、楽しい・好きだという思いが伝わってくる／⑤先生同士の仲が良い。
- 親身で頼りになる先生方が多い印象です。新しいことにたくさんチャレンジさせてくださる先生も多い気がします。
- 丁寧に話を聞いてくださる印象があります。また、先生方も意見を伝えてくださるので、対等な立場で学生を見ていただいている感じがします。
- 面白くて、一人ひとりのことを気にかけてくださる先生ばかりです。
- とても親身になって考えてくださいます。先生との相性もあるかもしれませんが、本当にいい環境で勉強できているなと強く思います。
- ゼミのような少人数の講義でなくとも優しく一人ひとりに真摯に向き合ってくれます。集中して授業を受けられる雰囲気づくりを心掛けてくださるので、そのような形態を望む人にはぴったりの環境だと思います。

Q15 アルバイトはしていますか？



世界中から観光客が集まる清水寺付近のお店でアルバイトをして、英語力を磨く学生もいます。観光地が近くにある大学だからこそできるアルバイト！

Q16 落ち込んだ時の気持ちのコントロール方法は？

- これ以上勉強できない!と思ったら潔く休む、もしくは寝るようにしていました。また、お気に入りのお菓子をストックして勉強のお供にしていました。
- 推しを見てリラックスしたり、目の前の楽しいことを考えて気持ちを切り替えるようにしていました。
- 美味しいものを食べる。お腹が空いたり栄養が不足すると気持ちが不安定になったり、集中力も低下するので、3度の食事だけでなくグミやチョコレートなどのお菓子を食べながら受験勉強に取り組んでいました。
- 思ったこと、思いついたことを適当な紙やメモアプリに書く。
- 劣等感が強かったのも、素直に自分のダメなところを受け入れて少しでも改善しよう、頑張ろうと思えるようにしていました。
- 誰かと話してため込まないように吐き出す。たまに泣く。
- 何かで悩んでいるときに、ひとまず一回寝て、それから起きた時に一番に出た答えに従うこと。
- 自分の好きなことをして気持ちをリフレッシュすることです。
- 歌を歌ったり、音楽を聴いたら、お菓子を食べたりと自分の好きなことをしていた。
- 時間を決めて、勉強から離れる時間を作っていた。
- 相談しやすい人を探し、悩みを溜め込まないようにしていた。例えば、親や担任の先生や友達。一旦外に出てリフレッシュすることもありました。